

■圃場管理Gmap・北海（Access2007版）

0・【目次】

[1・【概略】](#)[2・【使用方法】](#)[3・【画面説明】](#)[0\)メイン画面](#)[1\)ライセンス設定画面](#)[2\)初期設定画面](#)[4・【印刷】](#)[5・【バックアップ】](#)[6・【復旧方法】](#)[7・【プログラム更新後の処理】](#)

	2014-05-22 DigitalWave 藤原
	2014-10-24 DigitalWave 藤原
	2014-12-10/2014-12-22 DigitalWave 藤原
△1	2015-03-16 Gmap起動エラー対処 DigitalWave 藤原
△2	2015-04-18 耕作データ追加修正コメント追加、エラー対処法追加 DigitalWave 藤原
△3	2016-03-19 Gmapデータフォルダの説明追加 DigitalWave 藤原
△4	2016-10-12 「次年度小麦は種」操作説明 DigitalWave 藤原
△5	2017-01-20 1)マスター出会基準・地権・耕作 2)マスター地区の操作説明 DigitalWave 藤原
△6	2017-01-24 1)回数基準・調整マスターに従って最終的な出会回数を調整する機能追加 DigitalWave 藤原
△7	2017-08-2 1)[f_Menu]-コマンド次年度データ削除機能を追加 2)[f_PrintOut]200 [r_小麦播種調査一覧]-「印刷期限日」Bug修正 DigitalWave 藤原
△8	2018-0422 1)[f_Menu]-「耕作データ追加編集」機能を追加 2)新規圃場追加方法の説明

【暫定版】

1・【概略】 圃場管理をデータベース管理するソフトです。

- 1) 圃場、地権者、耕作者、農産物などマスターを別にしているので、耕作者、農作物が年度毎で変更になっても対応が容易です。
(EXCEL等のスプレッドシートで簡易に管理しようとする、
良く似た原本がいくつも出来きたり、変更時に色んな所を変更しないとダメだったりデータの一元管理が難しいです。)
- 2) 圃場をGoogleMapで表示、また逆にGoogleMap上のマウス操作でDBへの反映も可能(DBへの反映内容をご相談に応じてプログラム変更に応じます。)
(目で見える管理、目で見てデータを反映したり出来る事は、ミスの軽減、作業効率もアップします)

.....

- 5) インストーラを使わず圧縮ファイル展開フォルダ下の実行ファイルだけで動作します。(非ACCESS版の場合はACCESSランタイム班をインストールします。)
Windows環境:Windows7、Windows8.1で確認
(FlameWork2以上なら動作すると思いますので、WindowsXp、WindowsVistaでも動作すると思います。「推定」)

(但し、実行+読+書の権限あるフォルダで)

Windows7以降では圧縮Zipファイルは特別な圧縮・解凍プログラム無しで解凍できます。

Explorerやマイコンピュータで開く、ダブルクリックでDwaveフォルダが見えるのでこのフォルダーを「実行+読+書」可能なフォルダにコピーします。

- 2)-1 Access版の場合、[HojyoManager_2K.mdb]をクリックすると実行します。
- 2)-2 Access版で無い場合、[hojyo_manager.exe]をクリックすると実行します。

○Access版、非Access版のどちらでもライセンス番号はまず設定して下さい。

[hojyo_manager]起動後のメインメニュー画面にて
■画面上にて右クリックでこれが表示されます。

1・DB整理

- 1)「再リンク」・・・何らかの原因でDBリンクエラーが発生した場合
- 2)「DB最適化」・・・hojyo_manager.mdbのファイルサイズ縮小時

2・バックアップ

プログラム終了時に自動データバックアップを取ります。
そのバックアップフォルダを指定する事が出来ます。

([hojyo_manager.ini]- [BAK]- [BKFOLDER]のファイルパスに従います)

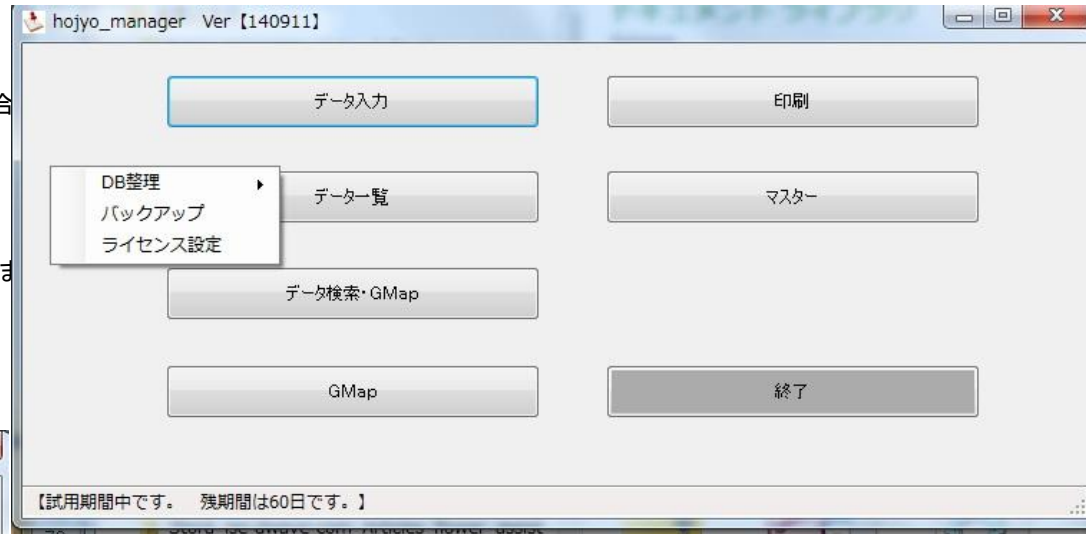
3・ライセンス設定

ご購入後に送られてきたライセンスIDを設定する画面です。

1)ライセンス設定画面



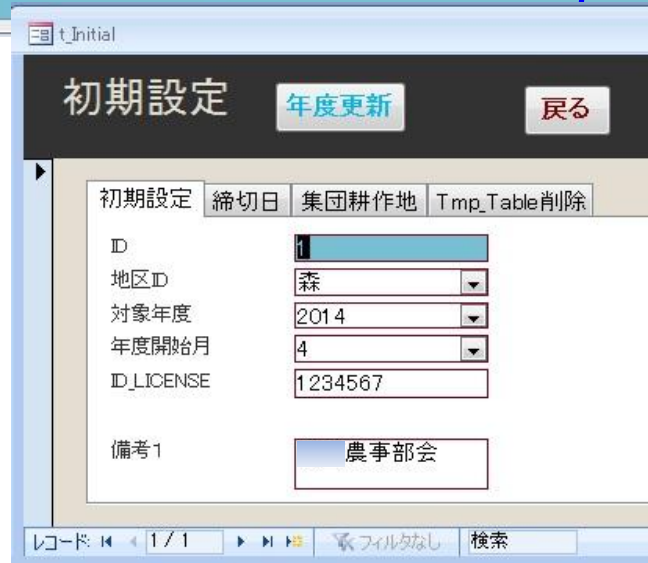
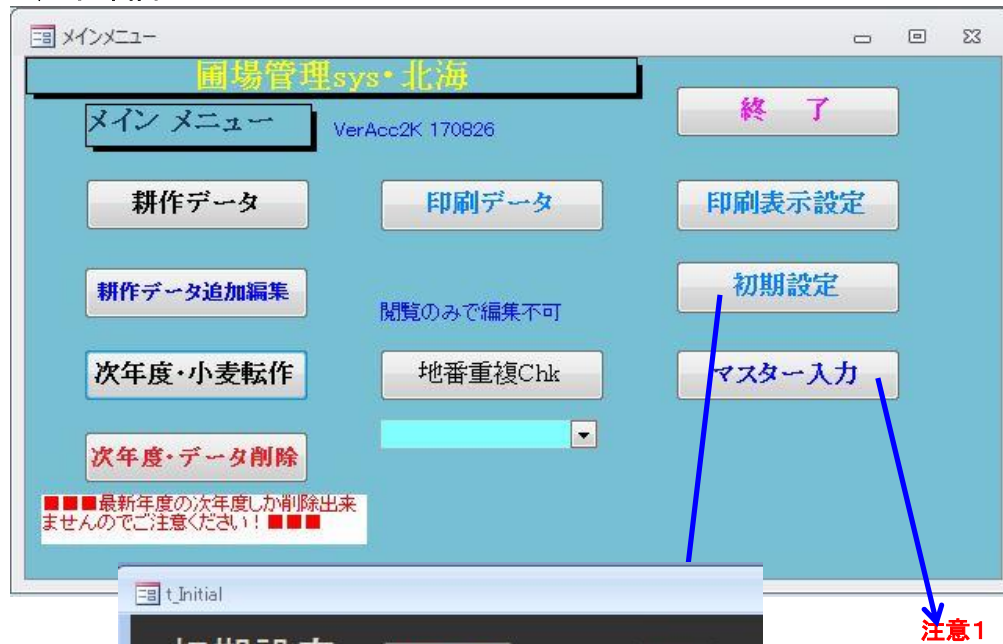
ご購入後に送られてきたライセンスIDを設定する場所です。
(送られてきたIDはコピー＆ペーストして入力してください。キーボードで入力は間違いの元になります。)



3・【画面説明】

0)メイン画面

△2



0-1)初期設定

初期設定	締切日	集団耕作地	Tmp_Table削除
ID	<input type="text" value="1"/>		
地区ID	<input type="text" value="森"/>		
対象年度	<input type="text" value="2014"/>		
年度開始月	<input type="text" value="4"/>		
ID_LICENSE	<input type="text" value="1234567"/>		
備考1	<input type="text" value="農事部会"/>		

- 1) 使用するその地区
- 2) 対象年度
- 3) 開始月
- 4) ライセンスID
- 5) 印刷レポートで表示する発行部門の名称

0-4)Tmp-Table削除

初期設定	締切日	集団耕作地	Tmp_Table削除
1:削除する	0:しない	<input type="text" value="0"/>	

○印刷—101～107で使用する中間テーブルのデータを圃場管理SYSの終了時に削除するか、しないかを指定します。
(マスターや圃場データが変化無い状態なら削除しない方が便利)

0-2)締切日

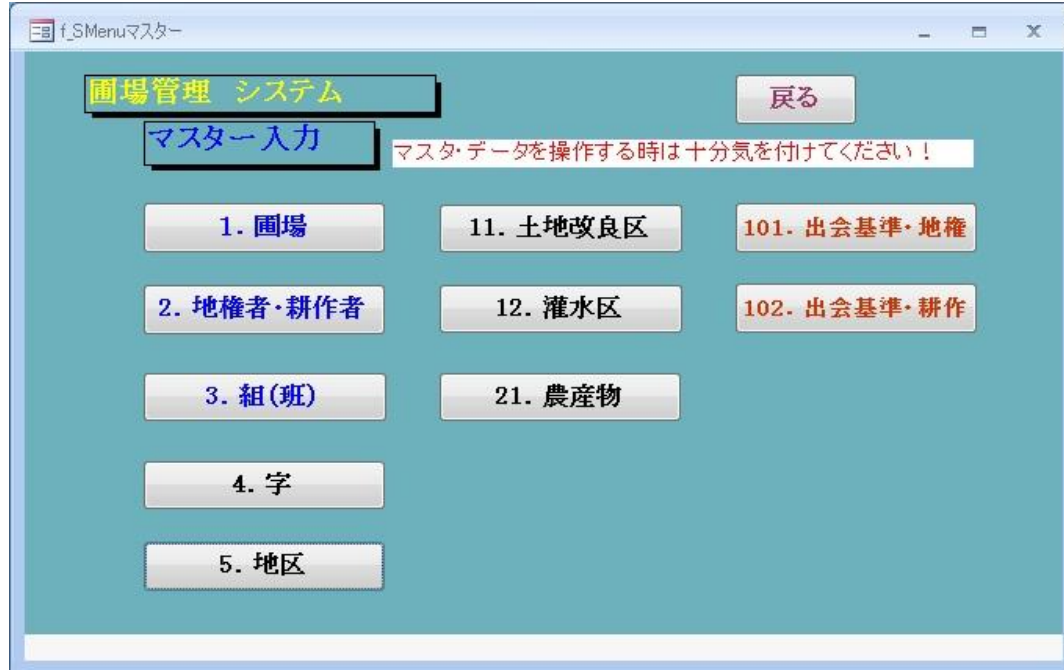
初期設定	締切日	集団耕作地	Tmp_Table削除
締切日1	<input type="text" value="3月20日"/>		
締切日2	<input type="text" value="4月10日"/>		
締切日3	<input type="text" value="10月11日"/>		
締切日4	<input type="text"/>		
締切日5	<input type="text"/>		

- 1) 印刷—001:「地権者一覧レポート」の締め切り日
- 2) 印刷—002:「耕作者一覧レポート」の締め切り日
- 3) 印刷—200:「小麦播種調査依頼レポート」の締め切り日

0-3)集団耕作地

初期設定	締切日	集団耕作地	Tmp_Table削除
集団転作地域1	<input type="text" value="中稻場・稲場・磯田・明野"/>		
集団転作地域2	<input type="text" value="鳥干、東、下の沢、下稲葉、神事場、荒蒔、焼野、野マ、ヒル田、上り"/>		
集団転作地域3	<input type="text"/>		
集団転作地域4	<input type="text"/>		
集団転作地域5	<input type="text"/>		

- 1) 印刷—200:「小麦播種調査依頼レポート」の集団地表示(奇数年)
- 2) 印刷—200:「小麦播種調査依頼レポート」の集団地表示(偶数年)

注意1 1)マスター画面

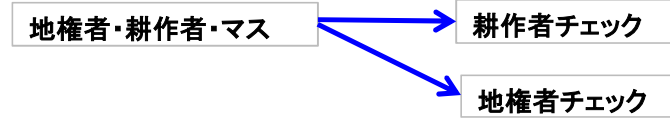
(【注意】比較的好く使うであろうマスターは青色にしています。)

①圃場マスター

地番、字名ID、地面積、灌水区ID、土地改良区ID、排水管理無CHK

②地権者/耕作者マスター(ID)

(パーソンID、氏名、電話、メール等)



③組(班)マスター……自治会内の組や班名称

④字マスター…… 圃場で使用する字名

⑤地区マスター…… 各自治会・農事部会で使用する地区名称
(森、上、小川、植山など)

⑪土地改良区…… 豊浜土地改良区、北部土地改良区など

⑫灌水区……… 灌水区区域名称

⑳農産物マスター…… 農産物名
(水稲、麦、菊、ガーベラ、トマト等)

101 出会基準・地権・(森区独自の出会回数判断基準・地権者用)

102 出会基準・耕作・(森区独自の出会回数判断基準・地権者用)

①圃場マスター画面【一番重要なデータ】なので不要なデータ削除、修正は気を付けてください。

小麦播種データの操作時に、マスターデータを追加、修正する必要がある場合も次年度にして下さい。(本年度の管理費請求する時に、データが変わってしまいます。)

△8

id_h	地番	字名ID	字名	地区ID	地区名	地面積	地権者IC	地権者名	p.c
1	646	201	明野	2	上	346	8		
2	763	201	明野	2	上	945	8		
3	1351-7	201	明野	2	上	1298	8		
4	4835	201	明野	2	上	1505	7		
5	4844	201	明野	2	上	750	8		
6	5033	201	明野	2	上	1019	8		
7	820	202	小俣野	2	上	914	81		
8	383-5	203	曲田	2	上	3102	7		
9	4968	201	明野	2	上	831	17		

■既にお手持ちのデータがPC上で存在する場合 (EXCEL, CVS等) はAccessDBへプログラム等で変換出来き、容易で正確です。御相談ください。

①背景色が白色箇所が入力可能な項目箇所です。

②ENTERキーで時項目へカーソル移動し、青色箇所は編集出来ない項目なのでスキップします。

③選択BOXでは↓を押すと、選択対象データが表示されるので、目的のデータを選択します。

④追加が必要な圃場データがある場合は「追加」ボタンでデータ追加 (id_hは最終連番が割り当てられます。)

1) 「編集」ボタンを押して赤字の所にデータを記載しま (字名、地番、地面積、地権者、灌水区、土地改良区)

2) 記載終了したら、再度「編集」ボタンを押して編集を終了します。

★新規圃場を追加する場合は、この後、メインメニューで「耕作データ追加編集」で今年度の耕作データ追加作業も必要になります。
(下記△2のところ)

⑤修正が必要な圃場データがある場合は、下記方法でレコード移動してデータ修正します。

○最上段「地番曖昧検索」で地番を入力後、「検索」ボタンでレコード移動します。

(111*などでアスターリスク(*)指定検索が出来ます。)

○最下段の←→「レコード」移動でレコード移動します。

○「Gmap」ボタンを押すと(予めGoogleMap用データが準備されている場合はGoogleMapへ圃場が表示されます。)

耕作データ検索

2014 年度 並び順
 地権者 耕作者 字名 地番 灌水区

id_圃場(地番) id_字名 地区 id_地権者 灌水区 空白 id_耕作者 農産物名
 空白 空白 空白 空白

全データ数 0 合計面積 地権者班 休耕 転作

id_圃場	地番	字名ID	字名	地区ID	地区名	地面積	地権者名	灌水区名	土地改良区名	排水管理無	耕作者名	耕作面積	農産物名	休耕	転作	転作面積

◎耕作データの検索

- ①この部分で、色々な検索条件を決めて「検索」ボタンを押して、耕作データを検索します。
(字名、地権者、耕作者では曖昧検索もできます。例えば「藤原*」で藤原XXXさんだけが絞られて表示し、選択出来ます。)
- ②検索条件を新たに検索する場合は「検索Reset」ボタンを押します。
- ③その時、「並び順」にある選択ボタンで、耕作データの並び替えも出来ます。
- ④検索後、「Gmap」ボタンを押すと、Googleマップで圃場を表示する外部プログラムが起動します。データが多い程起動時間が必要になります。

○農産物「野菜」で検索した場合

耕作データ検索

2014 年度 並び順
 地権者 耕作者 字名 地番 灌水区

2014/04/01
id_圃場(地番) id_字名 地区 id_地権者 灌水区 空白 id_耕作者 農産物名 野菜
 空白 空白 空白 空白

全データ数 60 合計面積 43742 地権者班 休耕 転作

id_圃場	地番	字名ID	字名	地区ID	地区名	地面積	地権者名	灌水区名	土地改良区名	排水管理無	耕作者名	耕作面積	農産物名	休耕	転作	転作面積
126	4676	201	明野	1	森	397	山田1	森明野	豊浜	<input type="checkbox"/>	山田1	397	野菜	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
200	4511	104	中稲場	1	森	992	林0	森三割	豊浜	<input type="checkbox"/>	渡辺1	992	野菜	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
172	4512	104	中稲場	1	森	992	中村5	森三割	豊浜	<input type="checkbox"/>	渡辺1	992	野菜	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◎耕作データの編集(画面オープン次では、安全を規する為にデータ編集(変更)出来ないようにしています。)

圃場マスター・データ以外は「編集」ボタンを押すと編集できます。(この時、注意を促す為に赤色表示にしています。)
(「耕作者名」、「耕作面積」、「農産物名」)
(「休耕」チェック、「転作」チェック、「転作面積」は普段使用しないと思います。)

△2 3)耕作データ入力
3)耕作データ追加修正

■基本的には、昨年度のデータをCOPYして耕作データを作成しているので、圃場を新規に追加する事は無いと思いますが・・・

「耕作データ検索」の「id_圃場」で検索出来ない場合は、この「圃場マスター」で圃場データを追加&耕作者を記載しなければなりません。

1-1)「id_圃場」を選択後、「データ追加」ボタンを押すと、上図の圃場データが最大伝票NO+1の番号で追加されます。

△2 1-2)「id_圃場」を選択せず、「データ追加」ボタンを押した場合、空白データが最大伝票NO+1の番号で追加されます。
この場合は「id_圃場」で圃場を選択後、「データ更新」ボタンを押して、圃場データを記載します。

2)誤って追加した場合は、左の「⇒」にカーソル移動して、「右クリック」切り取りOR削除をします。確認メッセージ後、「はい」で削除します。

△2 3)その後、「耕作者」や「農産物」を選択&「データ更新」ボタンを押して、データが記載されます。(これは「耕作データ検索」画面でも出来ます。)

■圃場データは(当然ではありますが、)圃場マスターにある圃場しか追加できません。

その場合は、「耕作データ」を終了して、

「マスター」-「圃場」で圃場マスターデータを追加してから、この「耕作データ」追加をして下さい。

4) 次年度・小麦転作

基本的には上記「2) 耕作データ」+「麦播種」と「麦後処理方法」を追加しただけになっています。

但し、小麦播種は次年度の転作事業となる為、

データの的には次年度データを本年度データも元にCOPYして、「麦播種」、「麦後処理」データを追記する事になります。

次年度データが未作成時には、

最初1回だけ「次年度・小麦転作」ボタンを押すと「次年度データを作成しますか？」の問合せがあります。

「OK」を押してください。

△4 「麦播種」—「集団地内」or「集団地外」のチェックONするだけで農産物は麦になります。OFFで農産物無しになります。

操作方法は「2) 耕作データ」と同じとなります。

○【DB=>GMap】Gmapボタン押すと「hojyo_manager」プログラムが起動し、対象データのバルーンが表示されます。(見つからない番地データは無いという事です。)

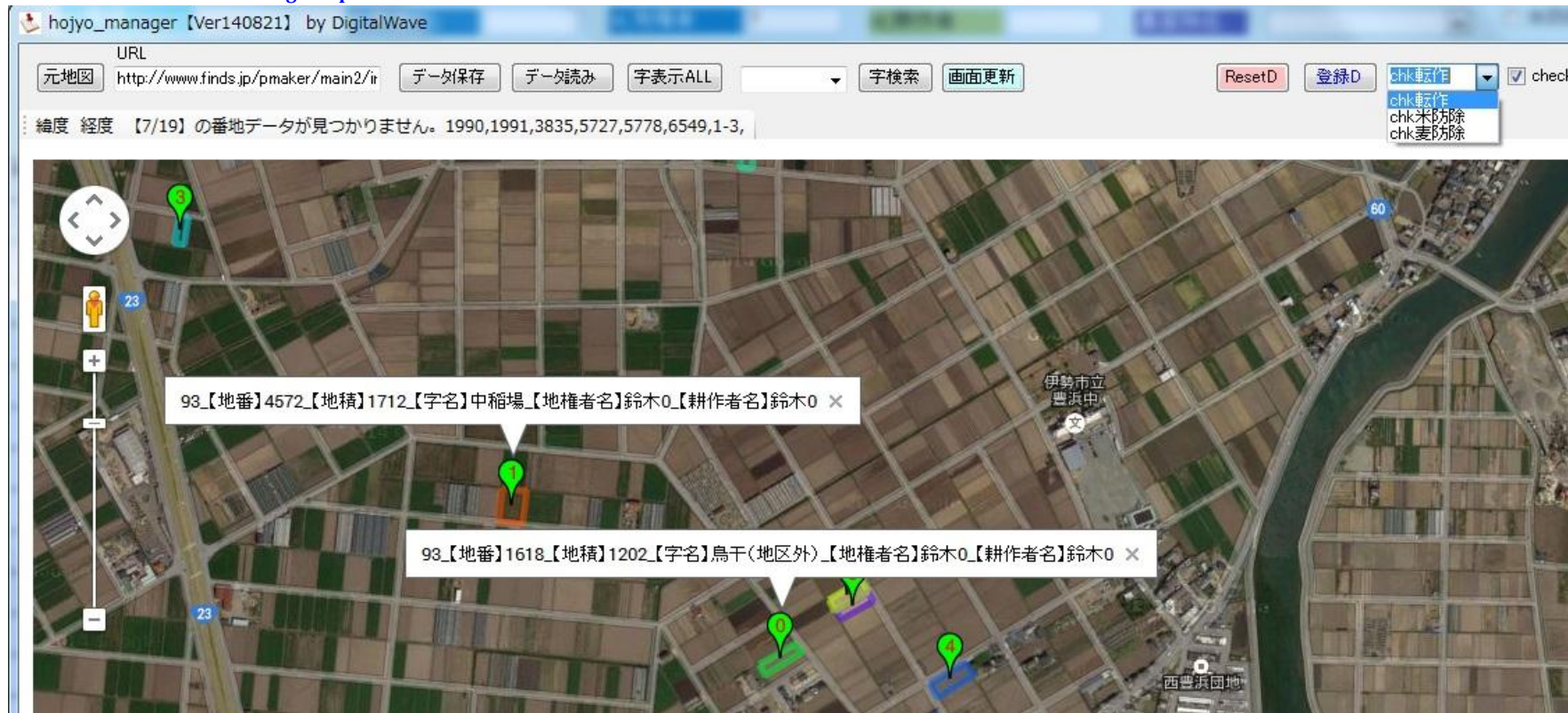


○【DB<=GMap】

Gmapからデータベースへのデータ反映の方法

- 1) Gmap上のバルーンをクリックしてDBデータの詳細を表示させます。
- 2) 編集項目を選択します。
- 3) 「登録」ボタンを押すその内容がDBに反映されます。

【注意】下図はGoogleMapで航空写真表示を選択している場合の表示です。



△3

Gmapデータ=Gmap_data.zip(地番、圃場のポリゴンデータ)の存在場所

1) 「マスター」-「土地改良区」-「Gmapフォルダー名」に記載したXXX

「HojyoManager_2K.mdbのあるカレントフォルダー」-「GMAP\Gmap_data_XXX

①基本的には、Gmap_data.zipを解凍したフォルダー

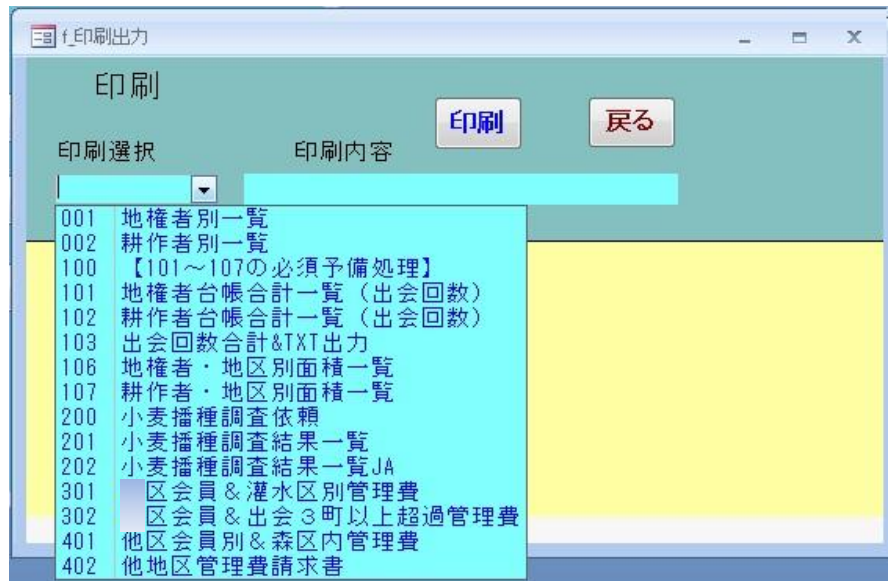
②Gmap_data_xxx.zipを解凍したフォルダー(土地改良区などが変わって番地が重複しないよう考慮した為です。)

(※注意 hojyo_managerをOPENした時に自動解凍して、プログラム終了時にはフォルダー削除をします。)

(Gmap_dataを作成するには多大な労力を必要とします。そのデータをCOPYして使用できないようにzip形式で暗号圧縮してあります。)

(尚、セキュリティーの為に地権者、耕作者等の個人情報とは分離してあります。)

4・【印刷】



2)印刷内容選択画面

001:地権者別面積一覧

002:耕作者別面積一覧

~~100:101～107の前処理なので、データ変更後には必須事項です。△~~

4

~~(データ変更を行ってなかったら必要有りません。処理時間が係ります。)~~

① 001～103は森区独自の使用項目

② 106:地権者・地区別面積一覧

③ 107:耕作者・地区別面積一覧

△3 103: 出会回数合計 & TXT出力を実行すると・・

.\outputフォルダーに下記4つのファイルが出力されます。

1) 地権者別面積.txt

2) 耕作者別面積.txt

3) 出会回数・耕作者.txt (各耕作者別の出会い回数)

4) 出会回数合計・地権者・耕作者.txt (各地権者と耕作者別の出会い回数と合計回数)

これらのデータを自治会PCのXXXXフォルダーにコピーします

(徴収金EXCELが毎月の農事関連集金を印刷する元データになります。)

5・【バックアップ】

プログラム終了時に自動データバックアップを取ります。
そのバックアップフォルダを指定する事が出来ます。

([hojyo_manager.ini])

[BAK]

BKFOLDER =ファイルパス に従って

1) 日付_hojyo1_be.mdb

2) 日付_hojyo2_be.mdb

ファイル先頭に日時を付加しています。

6・【復旧方法】

A-TYPE

「DBリンクエラー」が発生した場合

△2

1・[hojyo_manager.exe]を起動します。

2・「メニュー画面」→「右クリック」→「DB整理」→「DB再リンク」を行って[hojyo1_be.mdb][hojyo2_be.mdb]の2ファイルを関連付けます。

1・[cmd_R.bat](バッチファイル)をダブルクリックすると再リンクを行います。

B-TYPE

何らかの事情でファイルが破損した場合は

△2

1. 念の為にカレントフォルダの[hojyo1_be.mdb][hojyo2_be.mdb]をCOPYしておきます。

2. 破損した[hojyo1_be.mdb][hojyo2_be.mdb]を削除します。

3. 上記1)2)の直近の問題無いバックアップファイルを「hojyo_manager.exe」があるフォルダにCOPYします。

(但しこの時は[hojyo_manager_2k.mdb]又は[hojyo_manager.exe]を起動していない事！)

4. COPY後にファイル先頭の"日付_"を消去して[hojyo1_be.mdb][hojyo2_be.mdb]にファイル名を変更します。

1・「RstoreTool.mdb」(復旧ソフトを追加作成しました。)をダブルクリックしてプログラムを起動させます。

2・「MDBファイル復元」ボタンを押して、開いたバックアップフォルダの中から復元させたい2ファイル選択します。

(YYMMDD_HHmms hojyo1_be.mdb ---- マスターデータ)

(YYMMDD_HHmms hojyo2_be.mdb ---- 毎年の耕作データなど)

△1

C-TYPE

Gmap起動時エラーが発生した場合は

hojyo_manager.exeがあるディレクトリー下「cmd_resolve_error.bat」をダブルクリックで実行させてください。

(\GMAP\Gmap_dataフォルダが既存する為に発生するエラーに対処するように、このフォルダを削除します。)

7・【プログラム更新後の処理】

「HojyoManager_2K.mdb」又は「hojyo_manager.exe」を更新した後は、

カレントフォルダにある「cmd_R.bat」をダブルクリックしてデータファイルとの再リンクが必要です。

・【その他】

システムの開発、制作者はDigitalWave藤原です。

システムの著作権はDigitalWave藤原に属します。

許可なしにプログラムの改変を禁止します。